

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ひまわりとよた		R 8 年 3 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2		・引越し当初はワンフロアで全体が見渡せるため良かったが、利用人数が増えたため、大きな音が苦手だったり、気持ちが落ち着かない状態の利用者が静かに過ごせる場所があると良いと感じます。（別々に過ごせる部屋が少ない）
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・必要な人員確保が出来ています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			・必要に応じて室内の模様替えなど行っていますが、まだまだ子ども達の意見を聞きながら、改善していきたいと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・子ども達のやりたい活動に合わせ、お互いが気持ちよく安全に過ごせるよう空間を仕切ったり、スペースを決めたりしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・気持ちが落ち着かなかったり、体調の優れない利用者は、別室で静かに過ごせるようにしています。	・部屋数が少ないと感じます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・改善すべきことがあればすぐに話し合い、実践できる環境を心がけています。	・正職員だけでなく、パートさんを含め出来るだけ多くの人の参画を図っていききたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎朝の朝礼時や研修、委員会などを通じて話し合いや情報共有を常に行い、改善出来ることは積極的に行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・市の発達センター等が開催する研修への参加を積極的に行い、毎月一度は法人内での研修を行っています。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			・支援プログラムについてご家族への周知が足りていないと感じています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・複数人の職員で丁寧にアセスメントを行い、面談を行ったうえで支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・支援計画作成時には、こどもの様子について職員間で話し合い、短期・長期両方の視点で、こどものために必要な支援方法について検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・計画作成時には職員も参加して、必要な支援を理解して行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		・便利なツールがあれば活用したいと思います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・職員が広く参加して活動内容を考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・外出活動などにおいても固定しないよう色々調べ、外出先を決めています。 ・室内活動についても参考資料を使うなど常に内容をアップデートしながら作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・朝の朝礼時で話し合った事を支援前にパートさんにもお伝えし、支援について確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	・支援終了後などの時間に限らず、打ち合わせ、話し合い、情報共有は常に行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	・出来るだけ丁寧に日々の記録を残しています。	・検討、改善すべき事に関して、その日休んだスタッフへの情報共有が口頭のみになってしまう事があります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・モニタリング、面談を丁寧に行ったうえで支援計画を作成しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1		・自己選択が苦手な利用者に、もっと選択の機会や選択肢を増やす支援を行っていきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	・会議の際には事前に職員間で子どもの状態などを確認し、きちんと把握したうえで参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・必要な時は速やかに関係機関と情報共有し、連携して支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・学校、保護者共に下校時刻などについての連絡を丁寧に行ってください。 ・学校への送迎時、担任の先生にその日の様子をお聞きするなど情報共有を行い、連携が取れるようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		・市の発達センターからの情報共有はありますが、現状では幼稚園・こども園との関係は築けていません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		・卒業後の移行先は確認するが、情報提供などはしていません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		・発達センターの開催する研修に積極的に受講し、また、事業所へも事例検討に来て頂き助言を頂いています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	・公園等へ外出した際、挨拶をしたり一緒に遊ぶ機会があるため、スタッフがお手本になるよう積極的に働きかけています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		・自立支援協議会へ参加し、広い視野を持って支援が出来るよう、努めていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	・送迎時など出来るだけ会話をもち、ご家族の考えや思いをお聞きしたり、事業所での様子をお伝えしています。	・気になったことがある時は話をしているが、それ以外は事業所での様子をお伝えるのみにしている保護者もいます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		・ご家族が参加しやすい形を考え、まずは情報提供などを目的とした行事を計画していきたいと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・ご理解いただけるよう、時間をかけて説明させて頂いています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	2	・保護者との面談を通じて丁寧に聞き取りを行い確認しています。	・子どもの現在の状況やおかれている環境を理解したうえで子どもの意志、意向を確認していく必要があります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	・送迎時やLINE、電話等でご家族からの様々な相談をお聞きし、職員間で共有して対応しています。	・相談できる関係になっていない保護者もいるので、信頼関係をきちんと築いていかなくてはなりません。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	・父母の会活動は行っていないが、ご家族参加型の活動を設定し、交流の場としています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	・保護者から苦情などがあった時はすぐに事実を確認し、必要な対応を行っています。	・ご家族への配慮をより慎重に行い、対応力を高めていく必要があります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・事業所での様子などをブログで発信し、行事等の連絡事項はLINEを使って確実に見ていただけるようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・書類の配布や連絡事項については、手渡しで行いその場で説明を行うなどしています。 ・日本語（特に漢字）が苦手な方にはカタカナ表記の書類を作ってお渡ししています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		・地域の方には挨拶を行う程度で特に接点を持つ活動が行えていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			・もっと各マニュアルをご家族に周知し、行っている訓練についても、ブログに載せるなどしていきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			・訓練等を行っている様子などを保護者にもっと周知していきたいと思います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		・服薬の内容や量、てんかん発作が起きた時の対処法やその日の状態など、ご家庭と密に連絡を取って対応しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		・アレルギー症状が軽い場合、保護者からの説明を聞くのみになっています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・事業所での毎日を安全に過ごすための計画を作成し、確認が必要な項目についてはチェックを行い、年間を通じて研修や訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		・安全に関する取り組みについてのご家族への周知をもっと行っていきたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・朝の朝礼等で事故防止等に関して職員間で情報共有し、再発防止に心がけています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・虐待に繋がりそうな事案に関しては早期に対応し、職員間でも声を掛け合っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・必ず職員間で検討し、外部からも助言をいただいで対応しています。	